



CSR 検定 公式勉強会

[第12回3級／第6回2級]

株式会社オルタナ／オルタナ総研

代表取締役 編集長 森 撰

2021年6月15日

オルタナ編集長・森 撰 自己紹介

- 東京外国語大学スペイン語学科卒、日本経済新聞社入社、編集局勤務
- 1987年、環境庁担当として、国連ブルントラント委員会の東京会議
東京宣言「持続的な開発に向けて」を取材、**日本初の「サステナビリティ」記事に。**
- 1998～2001年 日本経済新聞ロサンゼルス支局長
- 2002年退社、NPO法人在外ジャーナリスト協会設立。現在も理事長。
- 2006年、株式会社オルタナ設立
- **2007年3月、環境とCSRと「志」のビジネス情報誌
「オルタナ」創刊、編集長に就任、現在に至る。**
- ◆ 一般社団法人CSR経営者フォーラム 代表理事
- ◆ 武蔵野大学大学院 環境研究科 客員教授
- ◆ 特定非営利活動法人在外ジャーナリスト協会 理事長
- ◆ 環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォーム有識者会議」委員
- ◆ 環境省「グッドライフ・アワード」実行委員

サステナブル・ビジネス・マガジン alterna



- ◆2007年3月創刊。CSR/サステナビリティに特化したビジネス情報誌（季刊。オンラインは毎日ニュース更新）
- ◆Yahoo!にニュース提供。月間PV500万。一般層にも浸透
- ◆編集長：森 撰（元日本経済新聞ロサンゼルス支局長）
- ◆論説委員：原田勝広（元日本経済新聞編集委員・明治学院大学教授）³ほか

サステナブル・ビジネス・マガジン

alterna

オルタナ
July 2021

65

民主主義と
ビジネスと

ESGの「S」が問われる
SDGs認証、百花繚乱の影

[トップインタビュー]

帝国ホテル/ローソン/スターバックス コーヒー ジャパン

alterna × S

若者とソーシャルを結ぶデジタルメディア

www.alternas.jp

Sustainable Today
CSR/ESG/SDGs/サステナビリティ経営

CSR/SDGs/ESG情報を網羅するウェブサイト

www.csr-today.biz

YAHOO! JAPAN × alterna

株式会社ヤフーとオルタナの協業（2010年9月～）

Yahoo!側は月間500万PV、オルタナ側50万PV

オルタナ
alterna
総研

30社にコンサルティング

CSR
検定

7000人以上が受験

SUSTAINABLE
BUSINESS
LEAGUE
SBL

中堅企業50社が参加

SUS
部員塾

400社600人が受講

2021年版

CSR検定

4級

SDGsの基礎
公式テキスト



SDGsの理解はCSRから
alterna
すべての社会人・学生・生徒に

2021年版

CSR検定

サステナビリティ経営とSDGs

3級

公式テキスト
編著：CSR検定委員会



サステナビリティ経営とSDGs
alterna
ビジネスパーソン必須の入門書

2021年版

CSR検定

サステナビリティ経営とSDGs

2級

公式テキスト
編著：CSR検定委員会



サステナビリティ経営とSDGs
alterna
企業価値向上に必須のプロセス

CSR検定 これまでの経緯

2008年3月 サステナビリティCSR検定開始

2014年3月 [新] CSR検定3級教科書を発売

2015年3月 全面リニューアル、(新)CSR検定3級第1回試験

2018年12月 CSR検定2級と3級の2019年改訂版を出版

「CSR検定:サステナビリティ経営をSDGs」に改称

2019年4月21日 CSR検定第9回3級試験／第4回2級試験

2019年10月27日 CSR検定第10回3級試験／**第1回1級試験**

2020年4月試験⇒7月に延期⇒11月1日に延期

第12回3級試験 申し込み1096人 第6回2級試験申し込み443人

★3級(第1回～11回)の累計受験者 6110人、

累計合格者 4302人(合格率70.4%)

★2級(第1回～5回)の累計受験者 1075人

累計合格者 623人(合格率57.9%)

★1級1次73人⇒2次合格者13人 合格率17.8%

想定受験者層

受験者のスキル

CSRストラテジスト

CSR検定
1級

CSREキスパート

CSR検定
2級

企業の一般社員
ほか公務員、学生、
団体職員、一般市民

[旧]
CSR検定

【戦略的CSR業
務の実践者】
企業・組織内で
CSRやサステナビ
リティ経営の
リーダーシップが
取れる人

企業のCSR、経営企画、
人事、総務などの担当
者のほか、関連部署や、
CSRに積極的に携わる
人など

CSR検定
3級

CSRリーダー

業務での必要性

CSR検定の対象と目的

◆CSR検定3級（毎年4月と10月に実施）

社会人一般、公務員、団体職員、学生などを対象に、所属組織の社会的責任を全うするため、CSRの学習を継続的に行い、日ごろの職務遂行にあたってCSRの考え方を反映させる努力をして頂ける方に必要な知識の習得。

◆CSR検定2級（毎年4月に実施）

所属組織の社会的責任を全うするため、ISO26000などCSRの考え方と知見を組織内に浸透させ、所属組織とさまざまなステークホルダーとの関係性(ステークホルダー・エンゲージメント)を発展させられる方に必要な知識の習得。

◆CSR検定1級(毎年10月に1次試験、2月に2次試験)

所属組織の社会的責任を全うするだけでなく、戦略的なCSR活動を展開し、所属組織の価値を高めるために積極的に活動し、組織の社会的活動を率先できるリーダーシップの習得。

■1級／2級／3級は同時受験できません

今年の変更点

- ◆オンライン化(初のオンライン試験)
- ◆CSR検定ページ(CSRtoday)を
オルタナオンラインに合体
- ◆2級試験:年1回⇒年2回に(朗報)
- ◆次回試験日(第2回1級/第7回2級/
第13回3級)は今年**11月21日**(通常は10月)
1級は11月21日に1次試験、2月に2次試験)
- ◆4級オンライン試験がスタート(7月から)

大事なポイント

- ◆カメラとマイクは、付属のパソコンのものでOKです。手元や机の上すべてを映す必要はありません。
- ◆会社のパソコンや回線で、セキュリティが高すぎてテストサイトに接続できない場合があります。その場合は、ご自宅のパソコンをご使用ください。

CSRの歴史的経緯①

◆CSRは古今東西、共通の概念

- オリバー・シェルドン(英国): 「CSR」を初めて論文に使う(1924年)
- 岩崎小弥太: 三菱の「三綱領」(1934) 三井の「自利利他」
- 経済同友会の決議「経営者の社会的責任の自覚と実践」(1956)
- 松下幸之助著「企業の社会的責任とは何か？」(1974、公害全盛期)

◆「社会的責任」から社会対応力へ **RESPONSE** + **ABILITY**

◆現代の「環境・CSR」に至る流れ

- 1950-70年代 水俣病などの公害病、光化学スモッグ
- 1972年 ローマクラブが「成長の限界」を发表
- 1987年 国連ブルントラント委員会「東京宣言」—初めてサステナブル・ディベロップメント(持続的な開発)という言葉に言及
- 1992年 リオ・地球サミット (環境と開発に関する国際連合会議)
「気候変動枠組条約」を採択
- 1997年 COP3(京都会議)で京都議定書を採択
- 1990年代 日本の大企業が相次いで「環境部」を設立

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SDGs 未来都市所在地



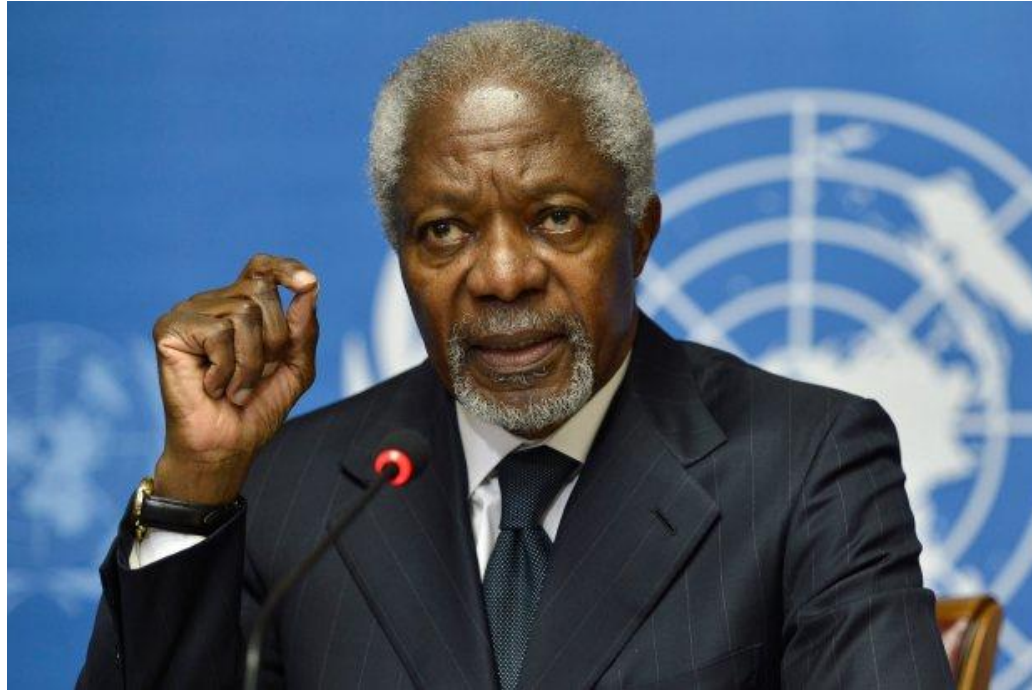
SDGs未来都市

日本政府も2016年にSDGs推進本部を立ち上げ、国として全面的に取り組むことになりました。2018年には北海道下川町や横浜市など29の自治体を、2019年7月には郡山市(福島)や舞鶴市(京都)など31自治体を「SDGs未来都市」として認定、様々な社会的課題に取り組むことになりました。

SDGs未来都市(一部)

北海道	北海道価値を活かした広域SDGsモデルの構築
札幌市	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市
ニセコ町	環境を生かし、資源や経済が循環する自治のまち
北海道下川町	未来の人と自然へ繋ぐしもかわチャレンジ2030
宮城県東松島市	全世代グロウアップシティ東松島
秋田県仙北市	IoT・水素エネルギー利用基盤整備事業
山形県飯豊町	農村計画研究所の再興「日本で最も美しい村であり続けるために」
つくば市	つくばSDGs 未来都市先導プロジェクト
神奈川県	いのち輝く神奈川 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現
横浜市	SDGs未来都市・横浜 ~連携による大都市モデル創出
鎌倉市	持続可能な都市経営「SDGs未来都市かまくら」の創出
富山市	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
石川県珠洲市	能登の先端「未来都市」への挑戦
石川県白山市	白山の恵みを次世代に送る「白山SDGs未来都市2030ビジョン
長野県	学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」
静岡市	「世界に輝く静岡」の実現 静岡市5大構想×SDGs
浜松市	浜松が「50年、80年先の『世界』を富ます」
豊田市	みんながつながる ミライにつながるスマートシティ
三重県志摩市	持続可能な御食国の創生
大阪府堺市	「自由と自治の精神を礎に、誰もが健康で活躍する笑顔あふれるまち」
奈良県十津川村	持続可能な森林保全及び観光振興による十津川SDGsモデル構想
岡山市	「誰もが健康で学びあい、生涯活躍するまち」岡山の推進
岡山県真庭市	地域エネルギー自給率100% 2030SDGs未来都市真庭の実現
広島県	平和の活動を生み出す国際平和拠点ひろしまの取り組みを加速する
山口県宇部市	「人財が宝」みんなで作る宇部SDGs推進事業
徳島県上勝町	SDGsでSHLs (Sustainable Happy Lives)持続可能な幸福な生活
北九州市	北九州市SDGs未来都市
長崎県壱岐市	壱岐活き対話型社会「壱岐(粋)なSociety5.0」
熊本県小国町	地熱と森林の恵み、人とのつながりをもたらす持続可能な街づくり

コフィ・アナンの「3つの贈りもの」



Specifically, I call on you -- individually through your firms, and collectively through your business associations -- to **embrace, support and enact a set of core values** in the areas of human rights, labour standards, and environmental practices. **@Davos, 1999**

皆さんにお願いしたいのは、皆さんの企業やネットワークを使って、気候変動や 人権（特に途上国の児童労働）など世界の社会課題解決に取り組み、支援し、それを皆さんのコア・バリューにすることです。（1999年1月の世界経済フォーラム = **ダボス会議**での演説）

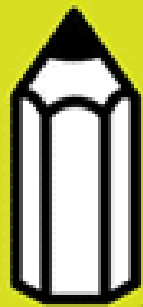
コフィ・アナンの「3つの贈りもの」

- ① **MDGs**(ミレニアル開発目標、2000～2015)
⇒ **SDGs**(持続可能な開発目標、2015～2030)



1

Eradicate extreme poverty and hunger



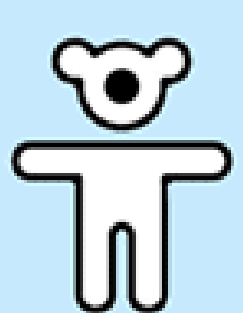
2

Achieve universal primary education



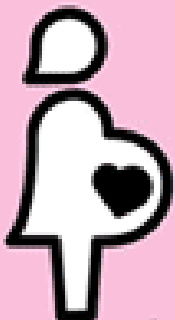
3

Promote gender equality and empower women



4

Reduce child mortality



5

Improve maternal health



6

Combat HIV/Aids, malaria and other diseases



7

Ensure environmental sustainability



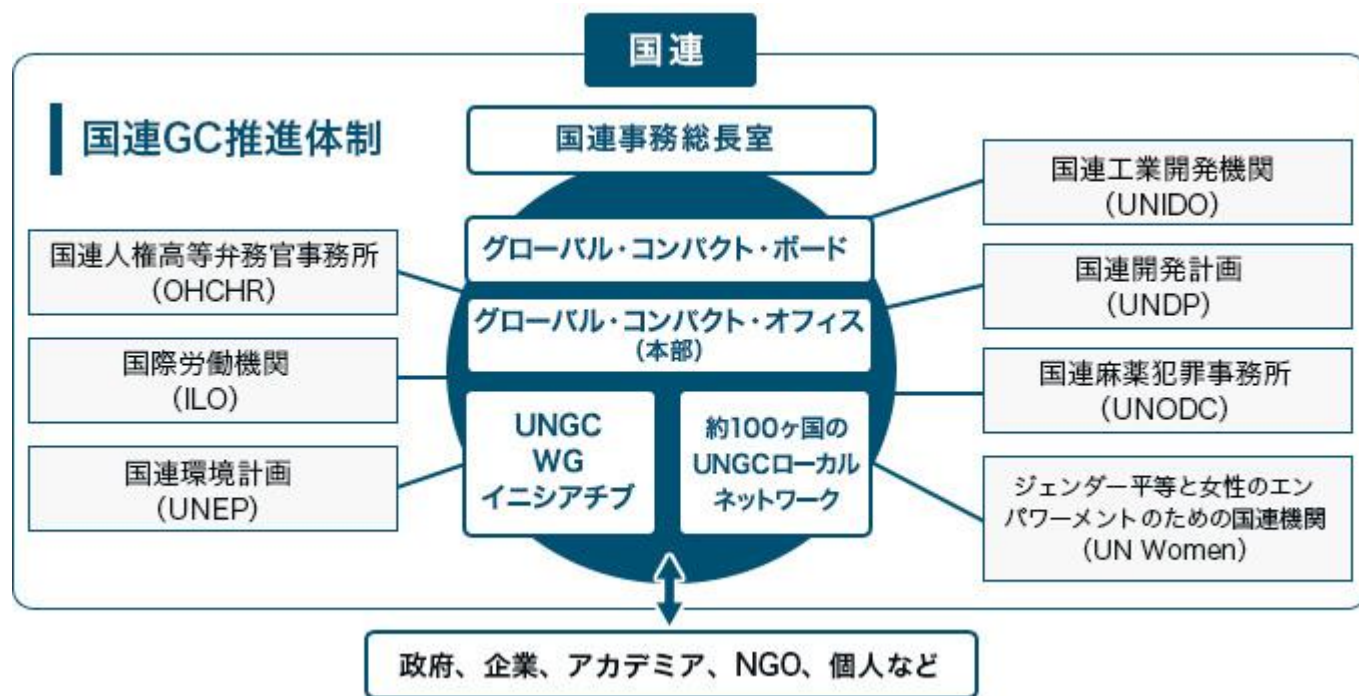
8

Develop a global partnership for development

コフィ・アナンの「3つの贈りもの」

② 国連グローバルコンパクト

WE SUPPORT



※コンパクトとは「約束」の意味

人権・労働・環境・腐敗防止の4分野で企業が「約束」

※2018年10月現在、世界で13000団体が加盟。日本では300弱が加盟

コフィ・アナンの「3つの贈りもの」

③PRI(国連責任投資原則)

※サステナブル投資/ESG(環境・社会・ガバナンス)投資を推奨

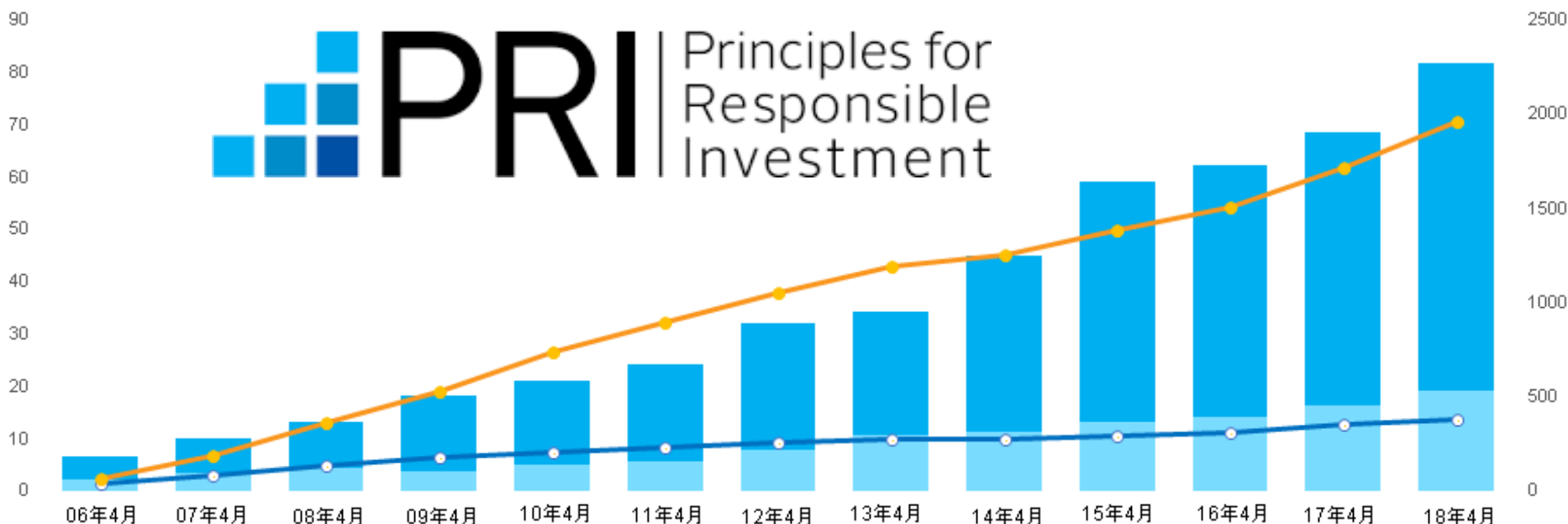
※日本では2015年、GPIF(年金運用基金管理運営独立法人)が署名

Signatory of:



署名機関数
(社)

資産運用残高
(兆ドル)



■ 署名機関全体の資産運用残高(兆、ドル)

■ 署名アセットオーナーの資産運用残高(兆、ドル)

● 署名アセットオーナー数

● 署名機関数

なぜ今、CSR/SDGs/ESGか

◆2015年は「サステナビリティ元年」

- 👉 **コーポレート・ガバナンス・コード**(上場企業の必達目標)(5月13日)
金融庁と東京証券取引所が取りまとめ
金融庁「スチュワードシップコード」(2014)と一対の行動規範
- 👉 **SDGs**(国連・持続的な開発目標)国連で採択(9月25日)
- 👉 **GPIFの国連責任投資原則の署名**(投資の尺度が変わった)(9月28日)
⇒ESG投資が日本でも拡大へ
- 👉 **トヨタ自動車、環境チャレンジ2050を発表**(10月14日)
- 👉 **気候変動枠組み条約・パリ協定**の採択(COP21、12月12日)
世界150カ国の首脳が参加
京都議定書と同じく、法的拘束力の持つ強い協定
世界の平均気温上昇を1.5~2度未満に抑える
今世紀後半、人間活動による温室効果ガス排出量を実質ゼロに
2020年以降、5年ごとに目標を見直し・提出

CSR活動の4領域

ネガティブ・インパクト最小化

ポジティブ・インパクト最大化

これからのCSR

企業価値の創造(大)

広義のコンプライアンス

ソフトロー対応(行動規範)
(ステークホルダーへの「負の影響」
の解消。ISO26000やSDGsを含む)
CSRリスクマネジメント
(サプライチェーンを含む)

価値創造型CSR(≒CSV)

アウトサイドイン・アプローチ (SDGs)
(社会的課題起点のビジネス創出)
製品・サービスの社会対応
マーケティングの社会対応

ガバナンス

狭義のコンプライアンス

ハードロー対応(法令順守)
企業不祥事防止
雇用、納税など

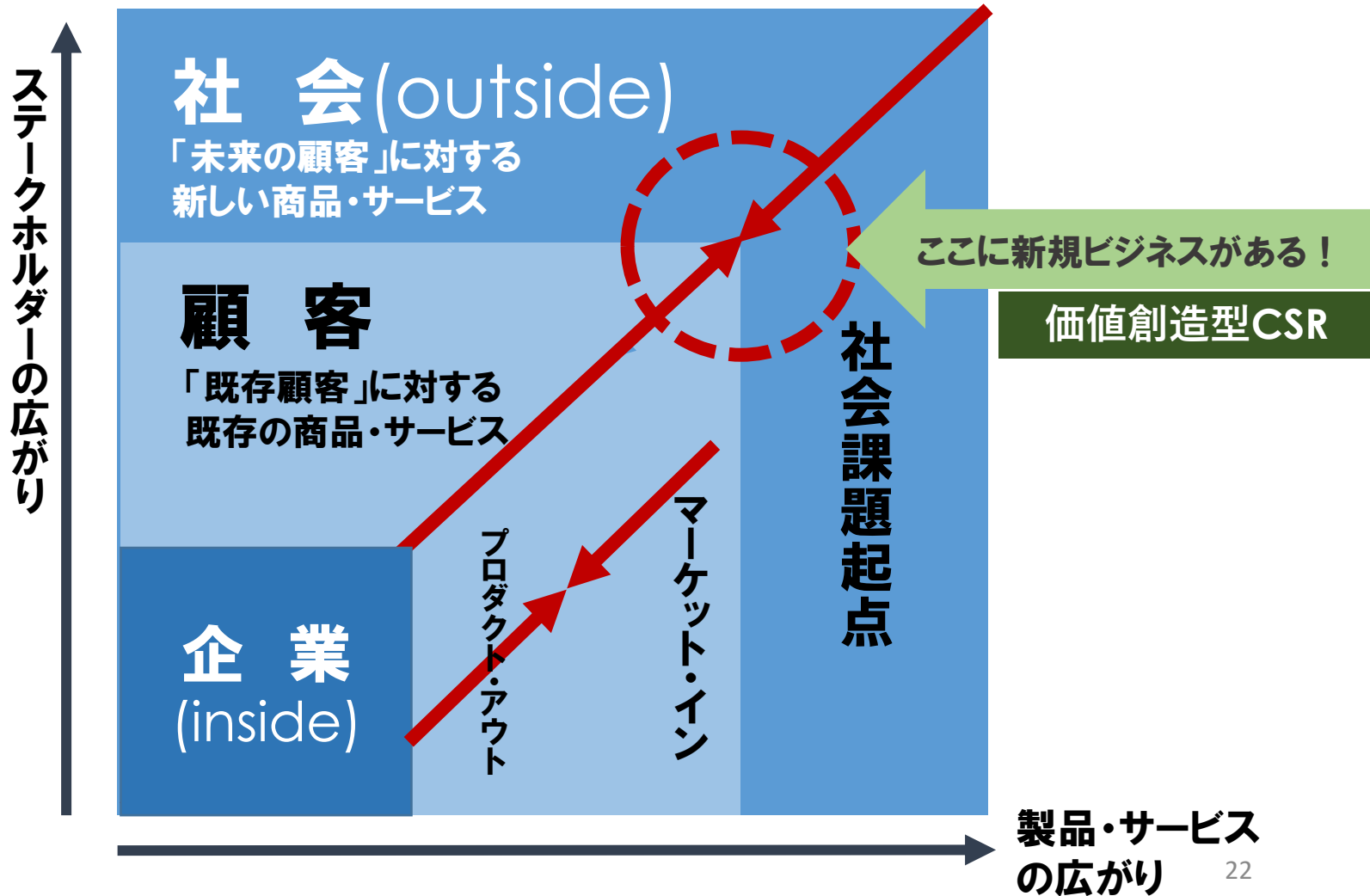
社会貢献/フィランソロピー

寄付、NGO/NPOへの支援
ボランティア/プロボノ
メセナ、清掃、植林活動など

これまでのCSR

企業価値の創造(小)

第1象限:アウトサイドイン(価値創造型CSR)



脱炭素、企業価値に直結

株式市場で「脱炭素」に熱心な企業の評価が高まっている
2017年末の時価総額 = 100



(注) MSCIの世界約2000社の排出量データをもとに作成。18年までの4年間で半分に減らした企業のうち削減量が多い30社と2倍以上になった企業のうち増加量が多い30社を抽出

ご清聴有難うございました。

サステナブル・ビジネス・マガジン
alterna



CSR検定コールセンター 03-6627-6404

株式会社オルタナ

東京都目黒区駒場1-26-10

kentei@alterna.co.jp